

平成 28 年度第 2 回 IR 実務担当者連絡会アンケート結果

「平成 28 年度第 2 回 IR 実務担当者連絡会」アンケートは、参加者 21 名のうち、スタッフ 8 名を除いた 23 人中 17 人から回答があった。今回は 4 件の報告がそれぞれ異なるテーマで行なわれた。教学 IR として学籍番号の取扱いについて、また研究 IR として論文数の扱いについて報告があるなど、話題が広い範囲に及んだが、そのことによる満足度の低下は無かった。参加者の所属機関における IR の段階は、これから IR 室を設置するところから、IR 人材を学内で育成していく段階までさまざまであったが、先行する大学の取組は所属機関でのヒントになったようである。

今後取り扱ってほしいテーマ・内容には、前回と同じく各機関の改善例、また、IR 立ち上げ時の状況、担当者異動の影響をうけにくい IR 活動の継続性、研究 IR について、やや具体的に、高校成績・入試・入学後のパフォーマンスについてそれぞれ要望があった。

(藤井 [名古屋大])

平成 28 年 10 月 23 日開催

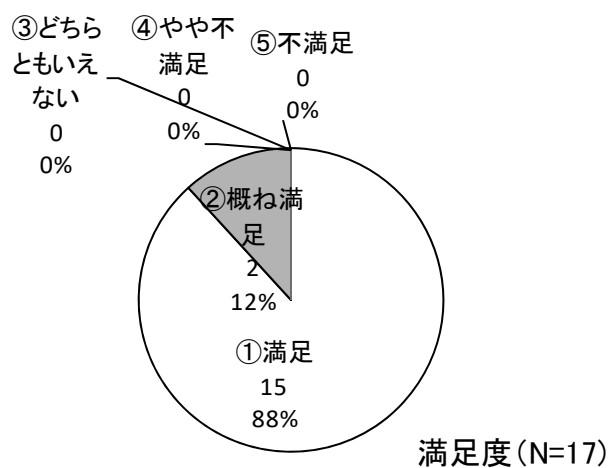


図 1 : 満足度

アンケート結果の詳細

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
1	国立	他大学では IR を進めるため、様々な方策をとっておられることを改めて知らされた。	②概ね満足	上と同じ	IR 立ち上げ時の状況	
2	無記名	事例を通じた方法論も参考となったが、それ以上に IR 活動そのものの周知、学内認知、若手を中心とした底上げ、定着策などにヒントを得たと思う。	②概ね満足			
3	国立	各大学のいろいろな具体的な取組	①満足			
4	私立	人材育成・IR マインドを学内に広げていくのが学内の課題になっているので、研修の内容・進め方が特に参考になりました。「入試データの読み方」は試してみようと思います。	①満足	手法、人材育成など幅広く IR 関連情報を得ることができたため	IR 活動の継続性（職員の異動、任期付教員による IR 活動）	非常時の対応をしっかりとされていて、内容に集中できました。
5	国立	教学 IR を考える上で、山形大学さんの取組、考え方がとても参考になりました。	①満足	新しい知見が得られただけでなく、現在進めている解析に対しても意見をいただくことができたため。		
6	公立	様々な領域での IR 事例を聞かせていただき参考になりました。	①満足	事例紹介（発表）が、それぞれコンパクトにまとめられており、後半に質疑応答に十分に時間が確保されているところがよかった。		

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
7	関係機関	<p>・山形大学様の学籍番号の管理について、研究所も宇宙教育プログラムを小学生のうちから催しているのので、大変興味深く聴きました。教育プログラムの効果測定等、活用できると思います。ありがとうございました。</p> <p>・研究 IR として、九州工業大学様の補正論文数の算出のしかた等、参考になりました。持って帰って一度算出してみたいと思います。</p>	①満足	研究 IR に限らず、広くお話を伺うことにより、研究所への運用にも応用できることが発見でき、大変有意義でした。	今は広く学習している最中なので、どんなテーマでもできる限り参加したいと思います。各機関の改善例をたくさんうかがいたいです。	学籍番号について、マイナナンバーを申告してもらうように（学籍番号そのものでもなくとも）組織をあげて国に提言する動きはないのでしょうか？研究者 ID などとも統合できると論文、研究分野の管理等でも有効かと思われ（反発も大きいと思いますが）。
8	関係機関	日本とアメリカの学生番号の取扱が異なることが分かった。私大では行うべき施策だと感じた。	①満足	4人全員のそれぞれの発表に気付きがあったため。		
9	関係機関	補正論文数の利用例を参考に、当機構研究者の分析もしてみたいと思いました。	①満足	発表内容が多様だったため。		
10	国立	初めて参加させていただきましたが、大学の規模によってもいろいろな考え方が異なってくることを知りました。	①満足			

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
11	国立	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学の取組について自分の大学と比較できて良かった。 ・私自身、自分の大学について理解していないことも多いのですが、自大学でも取り入れた方がよいものがあれば、係長等に相談したい。 	①満足	IRについて学ぶ機会は初めてだったので、データ		
12	国立	色々な話が聞けて良かったです。	①満足	網羅性があったのが良かった。	IRの集会で、研究を扱ってくれる有り難い場であると考えております。研究IRを継続してやっていただけると嬉しいです。	
13	国立	データを効率良くひも付けるための生涯番号については今後学内で検討していきたい。高大接続の観点からも地域の高校生の入学者を確保するためにも、これから必要だと感じた。	①満足	初めて参加させていただきました。皆様の本音のお話しが伺えてたいへん参考になりました。		
14	国立	小湊先生、寫田先生に代表される皆さまが具体的に何を目指して活動されているかがわかった。	①満足	多面的に、一般性のある課題が取り上げられており、勉強になった。		
15	公立	大学にIRの存在意義を示すための素材が多数見つかった。これからのIR室設置だが、教員よりも事務局の説得が難しいので、これらをアレンジして説得プログラムを作成予定	①満足	十分なディスカッションができた。多数の視点からの質問が出た。	高校成績、入試と入学後のパフォーマンス分析	

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
16	公立	IRの広がりという意味で、各部局に担当者を配置し、育成するというのは大変興味をもちました。	①満足	ポイントが明確で有用な報告が多く、勉強になりました。		
17	国立	学生番号の運用方法や職員の育成など、具体的な話を聞くことができました。	①満足	日頃気づいていない視点からの話を聞くことができたため		

以上